

「風流・はんや舞」(県指定無形民俗文化財)

- 1 開催日：平成28年9月18日(日)
- 2 時間：10時00分～
- 3 開催場所：星のふるさと公園(池の山)屋外ステージ
※雨天時、星野村総合保健福祉センター「そよかぜ」
- 4 観覧料：無料
- 5 アクセス：JR羽犬塚駅より堀川バスで約1時間20分 池の山前下車
九州自動車道八女ICから車で50分
- 6 連絡先：星野支所 総務課総務係
☎0943-52-3112

7 概要

「風流はんや舞」は、八女市星野村の麻生神社に奉納される民俗芸能で、風流(打楽)と扇舞とから構成されます。「風流」は僧装束で、唐団扇を持った新発意のリードで、“しゃぐま”をかぶった大太鼓打ちが、連やチンカン坊主という子役を伴い登場し、囃子方の笛に合わせて演じます。

「はんや舞」は、袴をまとい扇を持った20人ほどの舞手が、歌の初めや拍子に「はんや」の言葉を伴う歌を唄いながら扇を開いたり閉じたりしながら舞います。歌詞は42番ほどあり、「閑吟集」や「隆達小歌」など室町時代から江戸初期の小歌集から採られています。横廻り、中通り、上郷、下郷の星野村4地域から、それぞれが風流とはんや舞を演じます。

「はんや舞」の起源は、「筑後星野御池社記」に貞応元年(1222)猫尾城主の黒木氏が、国家安全と風雨無難を祈って舞楽ならびに風流の神事をなした、とあるのが初見です。「はんや舞」は中世の名残をとどめる芸能として福岡県の無形民俗文化財に指定されています。

